

LOJAPR06-05-No.88

## プレスリリース

FAO（国際連合食糧農業機関）日本事務所  
2006 年 8 月 16 日

UNICEF・FAO・WHO 共同メディアリリース

### 鳥インフルエンザの公共広告にジャッキー・チェン

2006 年 8 月 16 日、バンコク発 世界的に有名な俳優でもあり、武術家でもあるジャッキー・チェンが世界中の子どもたちやその家族に高病原性鳥インフルエンザへの注意を呼びかけるテレビの公共広告に出演する。

この公共広告は日本政府からの拠出のもと、国連児童基金(UNICEF)、国連食糧農業機関(FAO)、世界保健機構(WHO)によって制作された。

約 1 分間にわたる広告の中で、ユニセフ親善大使でもあるチェンが男女 6 人の子どもたちと一緒に色とりどりの折り紙で折られたツルを持って登場。チェンは子どもたちに毅然とした口調で、「鳥インフルエンザは鳥から人間にも移る可能性がある。だから、病気になった鳥や死んだ鳥、特に鶏に近づいてはいけない」と言って強くうなずく。そして、8 才のアヴァちゃんが大声で叫ぶ、「でも、折鶴で遊ぶのは大丈夫だよ。」



Katharine Mysak/The JC Group.

今回の広告は、アジアのみならず広範囲にわたって影響を及ぼし、多くの人が恐れる伝染病をテーマにしながらも、恐怖をあおらず、落ち着いた力強さと上品さがうかがえる。

「アジアだけでなく世界中の人々に関わるこの問題に関して、この子どもたちと一緒に活動できたのはすばらしかった。単に警告するのではなく、子どもたちが意識を高め、一人一人が気をつけるようになることが大切だ。鳥インフルエンザに対して、誰も子どもたちを危険にさらしたくはない。」とジャッキー・チェンは話した。

広告には世界中からきた 6～9 才の子どもたちが出演し、香港の Sha Tin 中学校で撮影された。

子どもたち全員が折り紙の特訓を受け、何人かは撮影前にチェンにコツを教えるまでに上達。広告からもわかるが、子どもたちとチェンは瞬く間に要領をつかんでいた。

今回の公共広告はジャッキー・チェンの人気と影響力を活用して、数多くの世帯に届くよう広く放映される予定。世界最大のマスメディアであるテレビは、国境や文化を超越する鳥インフルエンザに関する正確かつタイムリーな情報を伝える重要な手段となる。

2003 年以来、鳥インフルエンザが増加傾向にある。初めての H5N1 ウイルスが東南アジアで発見され、今年はヨーロッパ、中東、南アジア、アフリカでも報告されている。感染やさらなる発生を食い止め、人間への感染を防ぐための殺処分により、2 億羽の鳥が失われてしまった。

現在、H5N1 ウイルスの人間への感染が 230 件以上報告されており、そのうち半分以上のケースが命を落としている。また、その大部分がアジアで起きているという実態がある。感染した鳥との密接な接触が人間への感染の主な原因とされている。

FAO は各国に対する政策助言、技術情報の提供ならびに疾病のサーベイランス、診断、管理支援を通じて、鳥インフルエンザ根絶に向けた世界的な取り組みを進めている。WHO は各国の防疫対策支援を含む人間への感染に対する世界的な対応を調整し、新しい発症例やウイルスの変異を調査している。UNICEF は国連機関、政府、その他パートナー機関との連携のもと、鳥インフルエンザから身を守るための知識や技術の各世帯・家族への普及、人間への感染予防活動を続けている。

---

今回の公共広告は<http://www.thenewsmarket.com> でご覧いただけます。

さらに詳しい情報に関する問い合わせは以下の担当者にお問い合わせください。

Madeline Eisner, UNICEF Bangkok, +66 2 356 9406, +66 1 701 4626 (cell)  
[meisner@unicef.org](mailto:meisner@unicef.org)

Tani Ruiz, UNICEF Bangkok, +66 2 356 9409, +66 9 204 3453 (cell)  
[truiz@unicef.org](mailto:truiz@unicef.org)

Erica Kochi, UNICEF New York, +1 212 326 7785, +1 646 226 6361 (cell)  
[ekochi@unicef.org](mailto:ekochi@unicef.org)

Christopher Matthews, FAO Rome, +39 06 570 53762  
[Christopher.Matthews@fao.org](mailto:Christopher.Matthews@fao.org)

Dick Thompson, WHO Geneva, +41 22 791 2684  
[thompsond@who.int](mailto:thompsond@who.int)